

1 単元名 ○○中の学校図書館長は君だ！物語を紹介するリーフレットを作ろう
「少年の日の思い出」ヘルマン・ヘッセ 高橋健二・訳

2 単元を貫く言語活動とその特徴

本単元を貫く言語活動として、「自分で選んだ物語を紹介するためのリーフレットを作成する」という活動を設定した。リーフレットには、選んだ本の文章に表れているものの見方や考え方について、共感したり疑問をもったりしたことを書き、作成者も一読者としてリーフレット作りを進めていく。また、本を思わず手にとってみたくなるようなキャッチコピーも掲載する。

これらは「C 読むこと」の言語活動例「ウ 課題に沿って本を読み、必要に応じて引用して紹介すること」に基づくものであり、指導事項である「ウ 場面の展開や登場人物などの描写に注意して読み、内容の理解に役立てること」、「オ 文章に表れているものの見方や考え方をとらえ、自分のものの見方や考え方を広くすること」を満たす言語活動であると考える。

3 単元について

(1) 生徒観 (男子＊名 女子＊名 計＊名)

1学期に学習した物語文である「遠い山脈」や「さんちき」においても、本単元と同様に「文章に表れているものの見方や考え方をとらえ、自分のものの見方や考え方を広くする」力の育成をねらいとした。この力を、「文章の内容について自分の考えをもつ力」と捉え、文章を読んで共感したり疑問に思つたりしたことを文章にまとめる学習活動に取り組んできた。

しかし、「さんちき」や「遠い山脈」で生徒が学習したワークシートやノートを検証し直すと、自分の考えをもつ力をさらに育成していく必要があることがうかがえる。また、物語の内容 자체を読み取れていない生徒も多いため、描写に注意して読み、内容そのものを確実に理解する力も伸ばしていく必要があると考える。

「遠い山脈」を読んで、共感したり疑問に思つたりしたことを文章にまとめることができた生徒の割合。 (「おおむね満足できる」状況と判断されるもの)	＊%	「さんちき」を読んで、共感したり疑問に思つたりしたことを文章にまとめることができた生徒の割合。 (「おおむね満足できる」状況と判断されるもの)	＊%
--	----	--	----

(2) 教材観

1学期に学習した「遠い山脈」や「さんちき」と同様に、本教材も生徒と同年代の人物が登場する物語である。生徒たちは、様々な体験をしたり、身の回りの友人や大人たちを見たりして自分のものの見方や考え方を広げていくが、生徒が触れる物語の登場人物もその役割を担っている。本教材に登場する「僕」は過ちを犯してしまい、贖罪の思いから自らのチョウの収集を指で潰してしまう。この場面を山場と捉え、場面の展開や登場人物の描写を手がかりに内容を理解し、なぜ自らの収集を潰してしまったのか自分の考えをもつ。そして、自分のものの見方や考え方を広げていくことのできる教材である。また、本教材で培った読みの力を他の物語にも生かし、自らの読書生活をより豊かなものにしようとする態度にもつなげることのできる教材であると考える。

(3) 指導観

今後、生徒が自らの読書生活をより豊かなものにしようとする態度を育成するために、本教材を通して、場面の展開や人物や情景の描写に注意して文章を読むことができる力を身に付けさせたい。また、ただ内容を読み取るだけではなく、内容について自分の考えをもつ読書活動をさせたい。そのためには、並行読書をしながら自ら設定した課題を解決していく学習過程が必要であると考える。そこで「物語を紹介するリーフレットを作成する」という学習課題を設定した。本教材を読んで山場を見つけ、「僕」の行為について自分の考えをもち、リーフレットで紹介する。その経験を生かして、今度は生徒と同じ10代の青少年が登場する他の物語を一人一冊選び、課題解決に向けて主体的に取り組ませたい。

4 単元の目標

- 自ら設定した課題を解決するために、意欲的に学習に取り組もうとする。
(関心・意欲・態度)
- 場面の展開や、人物や情景の描写に注意して文章を読むことができる。
(読むこと)
- 文章に表れているものの見方や考え方について、共感したり疑問をもつたりして自分の考えを広げる
ことができる。
(読むこと)
- 事象や行為などを表す多様な語句について理解を深めるとともに、文章中の語彙について関心もつこ
とができる。
(伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項)

5 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
<ul style="list-style-type: none"> 自ら設定した課題を解決するために、意欲的に学習に取り組もうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 場面の展開や、人物や情景の描写に注意して文章を読み、紹介したい部分を決めている。 文章に表れているものの見方や考え方について、共感したり疑問をもったりして自分の考えを広げている。 	<ul style="list-style-type: none"> 事象や行為などを表す多様な語句について理解を深めるとともに、文章中の語彙について関心をもっている。

6 単元の指導計画（7時間扱い）

次 時	主な学習活動	主な評価
一 1	<ul style="list-style-type: none"> 単元全体の見通しをもつ。 リーフレットの構成要素をもとに、学習計画を立てる。 「少年の日の思い出」の現在の場面を通読する。 	関：単元全体の見通しをもち、学習課題を立てたり通読する活動に意欲的に取り組もうとしている。
二 2	<ul style="list-style-type: none"> 「少年の日の思い出」の過去の場面を通読する。 文中の意味の分からぬ語句を辞書で調べる。 	言：意味の分からぬ語句を辞書で調べ、文脈上の意味を考え、事象や行為などを表す多様な語句について理解を深めている。
	・「少年の日の思い出」のリーフレットを作る。（あらすじ、人物相関図）	読：場面の展開や、人物や情景の描写に注意して文章を読み、「少年の日の思い出」のあらすじと人物相関図を書いている。
	<ul style="list-style-type: none"> 最も心に残った「僕」の姿とその理由を話し合い、山場をつかむ。 山場の「僕」の姿について、自分の考えをリーフレットにまとめる。 	読：文章に表れているものの見方や考え方について、共感したり疑問をもったりして自分の考えを書いている。
三 5	<ul style="list-style-type: none"> 「少年の日の思い出」の読み方を生かして、自分が選んだ物語のリーフレットを作る。（あらすじ、人物相関図） 	読：場面の展開や、人物や情景の描写に注意して文章を読み、自分で選んだ物語のあらすじと人物相関図を書いている。
	・山場の登場人物の姿に対する自分の考えをリーフレットにまとめる。	読：文章に表れているものの見方や考え方について、共感したり疑問をもったりして自分の考えを書いている。
	・リーフレットを読み合い、交流する。	関：リーフレットの交流を通して他者の読みに触れ、ものの見方や考え方をさらに広げようとしている。

7 本時の学習

(1) 目標

- リーフレットの作成を通して、山場の「僕」の姿について共感したり疑問をもったりして、自分の考えを広げることができる。

(2) 準備・資料

- ・教科書 ・ノート ・リーフレット用紙

(3) 展開

学習活動・内容	指導上の留意点・評価
<p>1 本時の学習課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>山場の「僕」の姿に対して、あなたはどのように考えるだろう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・単元の第三次に、自分で選んだ物語のリーフレットを作成する学習課題を設定していることを再度確認し、本時の学習について見通しをもたせ、主体的に学習に取り組めるようにする。 ・教師のグッドモデルを再度示し、学習のゴールを具体的にイメージできるようにする。
<p>2 物語の中で、最も心に残った「僕」の姿とその理由を書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・前時の終わりにも考える時間を確保し、スムーズに場面を選び、理由を書けるようにする。 ・選んだ場面は物語の山場であることを意識させながら選ばせるようにする。
<p>3 最も心に残った「僕」の姿とその理由を4人一組のグループで話し合い、山場をつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「僕」がチョウを自らの手で潰す場面を選ぶ生徒が多いと考えられる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>長い時間かけて収集したチョウを自分で粉々にしてしまったから。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>自分の一番大切なものを自分の手で壊してしまったから。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・なぜその場面を選んだのか、理由を丁寧に検討させ、リーフレットで紹介する物語の山場をグループ内で明確にさせる。 ・山場の「僕」の姿について自分の考えをもたせるために、山場について確かめたい疑問点も出させておく。 →なぜ「僕」は大切な収集を自分で潰してしまったのだろうか。
<p>4 疑問点についてグループで話し合う。</p> <p>(例) なぜ「僕」は自分の収集を潰したのか。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>取り返しのつかないことをしてしまった自分を許せなかつたから。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>エーミールにいろいろ言われて腹が立ったから。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>エーミールの態度が許せなかつたから。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>エーミールのチョウを盗んだあげく台無しにしてしまい、自分にはもうチョウの収集をする資格はないと思ったから。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・疑問点について簡単にノートにまとめてから話し合いをスタートさせる。 ・話が飛躍しすぎないようにするために、話し合う際は本文を根拠とすることを確認する。
<p>5 山場の「僕」の姿について、自分の考え（共感したことや共感できなかったこと、疑問に思ったこと）をリーフレットにまとめる。</p>	<p>◎A：山場の「僕」の姿について、自分の考えを裏付ける根拠となる部分を引用して、整理している。</p> <p>B：山場の「僕」の姿について、共感したり疑問をもったりして自分の考えを書いていい (リーフレット)</p>
<p>6 本時の学習を振り返る。</p> <p>(本時の授業で分かったこと、疑問に思ったこと、次の授業で学習したいことなど、課題に対する生徒の反応例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「僕」が自分の罪の重さに耐えかねて、自分の収集を潰してしまったことが共感できる。私も同じことがあつたら、もうチョウなんて見たくなくなると思う。 ・「僕」が自分の収集を潰したこと納得がいかない。あれだけ多くの時間をかけ、情熱を注いできたものを自分で潰すなんて考えられない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習の振り返りとして、分かったこと、疑問に思ったこと、次の授業で学習したいことなどを書かせ、数名に発表させる。 ・次時は「少年の日の思い出」の読み方を生かして、自分が選んだ物語のリーフレットを作る学習であることを確認する。 ・本時の学習への取組を称賛する。